

アスベストワーカー プロ

取扱説明書

(’06.10 改訂)

株式会社 ユニケミー

アスベストワカール プロ 使用上のご注意

試薬の一部には毒物に該当する薬剤が含まれています。使用する場合は以下の事項にご注意ください。

- 1) 試験・研究用以外に使用しないで下さい。
- 2) 皮膚に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用して下さい。
- 3) 屋内で使用する場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱って下さい。
特に、調整液は比較的強いアンモニア臭がしますのでご注意ください。
- 4) 薬剤が目に入った場合、直ちに流水で15分以上洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
- 5) 皮膚についた場合、ただちに大量の水で十分に洗い流す。痛みやかゆみが残る場合は、医師の手当を受けて下さい。
- 6) 火気を避け、小児の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- 7) 呈色した液はアルカリ性です。中和した後、排出して下さい。
- 8) 試薬容器等は産業廃棄物として処理して下さい。
- 9) このセットは、あくまで簡易測定用です。本製品による判定結果は法的根拠になりません。
- 10) 混在物（マグネシウム含有ケイ酸塩鉱物等：蛭石など）によっては、判定が困難な場合があります。その際は、機器分析で正確に判定することをお勧めします。
- 11) 本製品は加水率が0.1%*程度以上、クリタイルは0.5%*程度以上を含有する試料について、アスベストの含有判定が可能です。ただし、公定法での含有量とは若干意味合いが異なりますのでご注意ください。

*：重量百分率で示す。公定法でのアスベスト含有判定は、重量百分率
又はアスベスト繊維数(位相差顕微鏡による)で決定される。

本品には下記の製品が入っています。ご確認ください

基本セット：携帯用ケース1個、ロート3個、ビーカ20個、廃液入れ1本、脱脂綿1袋、
蒸留水1本、攪拌棒2本、ピンセット1本、スプーン1本、判定試薬10回分

※ 最初は、基本セットを、次回からは追加試薬セットのみの購入をお勧めします。

追加試薬セット：ビーカ20個、脱脂綿1袋、蒸留水2本、判定試薬10回分

お問い合わせは

㈱ユニケミー 本社営業部 名古屋市熱田区伝馬一丁目 8-18
TEL052-682-5619 FAX052-679-6281

◇ 測定手順

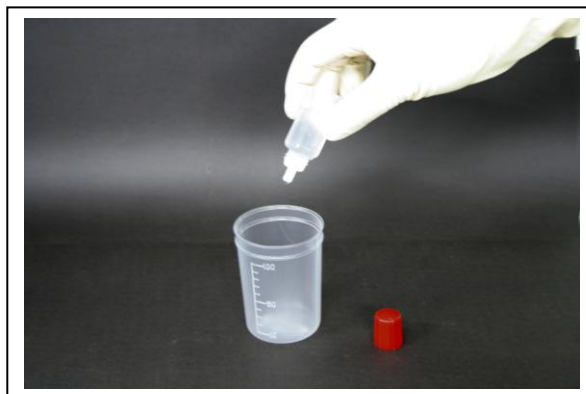
1. 付属スプーンを用いて粉碎した試料をすりきり一杯程度ビーカーに採取します。

注意：・試料はビニール袋に入れ指先などで細かくつぶして下さい。必要に応じて乳鉢などを使用して試料を粉碎してください。
・試料をあまり多く採り過ぎたり、少ないと判定が困難になる場合があります。



2. ビーカーに前処理液1本を全量入れ、試料とよく攪拌・混合した後、1時間静置します。

注意：・前処理液が試料と混和しない時は、備え付けの攪拌棒を使用して攪拌・混合してください。

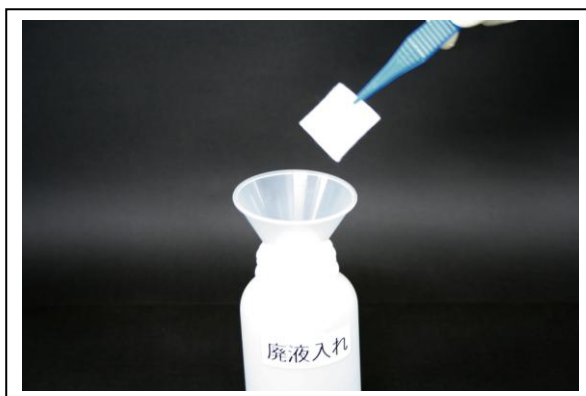


3. 廃液入れの蓋を取り、ロートを廃液入れの口に入れます。



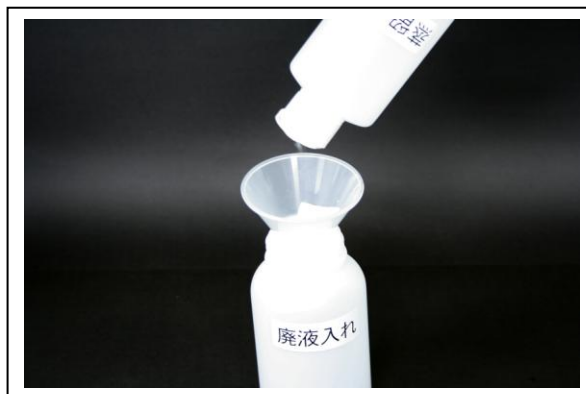
4. ピンセットを使ってロートに脱脂綿を広げて載せます。少量の蒸留水を脱脂綿にかけてロートに密着させ、ロート下部の穴を塞ぐようにします。

注意：・脱脂綿1枚を使用してください。
・前処理液をろ過する際に、液が脱脂綿を通らずに落ちることのないよう、脱脂綿を十分広げてください
・試料が脱脂綿を通過する場合がありますが、測定には影響ありません。



5. 2. の液をロートに流し入れ、ビーカー内を蒸留水で数回洗い流します。さらに、脱脂綿全体を蒸留水で3回以上洗います。

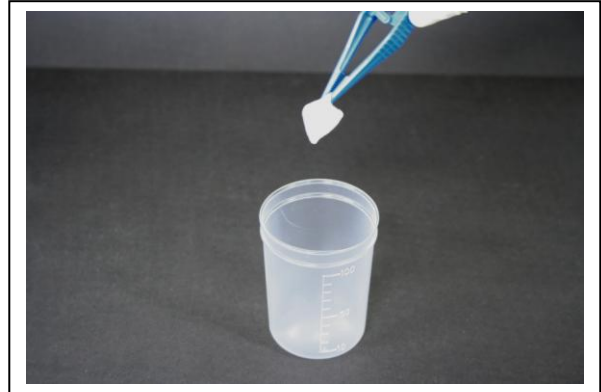
注意：・残渣が残らないよう、ビーカーを十分、蒸留水で洗い流して下さい。



6. ろ過残渣を内側に包むように脱脂綿を折りたたみ、よく水分を絞ります。脱脂綿に蒸留水をかけ再び水をよく絞ります。この操作を2～3回繰り返し、前処理液の除去を完全に行なって下さい。
- 注意：・備え付けのピンセットを使用してください。



7. 折りたたんでよく水分を除いた脱脂綿を、新たなビーカーに移します。



8. 溶解液1本全量を入れ、ビーカーを揺らしながらよく混合した後、3分間静置します。



9. 調整液1本全量をビーカーに加え、ビーカーを揺らしながら混合します。
- 注意：・比較的強いアンモニア臭がします。換気が不十分な場所での使用を避けて下さい。



10. 呈色液全量を加え混合した後、3分間静置します。
- 液の色を観察し、次項の判定基準に従って、アスベストの有無を判定します。
- 注意：・試薬には重金属を使用していませんが、測定後の溶液はアルカリ性です。関係法令に従って処分して下さい。



◇ 判定

操作後の液の色でアスベスト含有の判定を行ないます。

アスベスト**有**の場合： 赤～赤紫色 または 黄褐色

アスベスト**無**の場合： 青～青紫色

＜アスベスト有の例＞



〈呈色とアスベストの関係〉

赤～赤紫色

【試料に含有するアスベストがクリソタイルの場合に多く出現します。】

黄褐色

【クロソドライト、アモサイトを含む試料、又はクリソタイルを多く含有する試料の場合に多く出現します。】

＜アスベスト無の例＞

